

バラの育て方 夏のお手入れ

最近のイングリッシュ・ガーデンのブームで、大人気のバラ。
世界中のガーデナーから愛されつづけるバラの夏のお手入れを紹介します。

夏のお手入れ

■剪枝・剪定

ハイブリッドティー … 四季咲き性の現在バラの系統・大輪系
フロリバンダ … 房咲きに花をつける

・花後の剪定



五枚葉を1枚付けてその下で切り取ります。切り取る位置が悪いと思われる場合は、その上下の五枚葉でもOKです。切る位置は、五枚葉の付け根の目に沿って斜めに1mm程上をカットします。

・夏のシュートの剪定



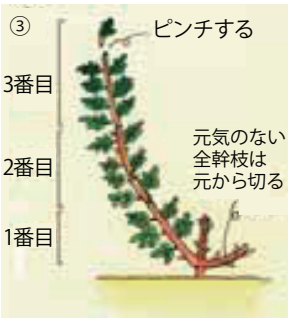
シュートが30～40cmに伸びた頃(つぼみが確認できる前)、5～6枚の五枚葉を残して、その上部をピンチ(切り取り)します。

シュートとは

春～夏にかけて咲いた花が終わると株元のつぎ口あたりから太い芽が伸びだします。それをシュートと言います。秋または来春の主幹枝となります。



ピンチした所から次の芽が伸びてきます。その下のわき芽が伸びてきたら、早めに切ります。



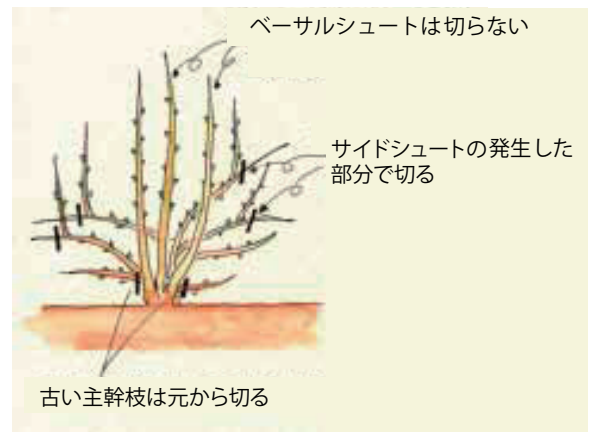
2番目以降は、五枚葉を6～7枚残してピンチします。そして古い主幹枝を切り、新しいシュートを伸ばしていきます。4番目の芽はそのまま伸ばします。

※注意

ハイブリッドティーは数回ピンチしますが、フロリバンダは1回でかまいません。

つるバラ

・花後の剪定



一季咲きの品種は7～8月に剪定します。新しいシュートが伸びた頃、古い主幹枝を元から切り、身軽にします。四季咲きの品種は夏の剪定は行いません。

ベーサルシュート

開花期前後に地際から出る太いシュートのこと
サイドシュート 主幹枝の途中から発生するシュート

サイドシュート

主幹枝の途中から発生するシュート

ミニバラ

下部から伸びたシュートにもそのまま花を咲かせてかまいません。シュートをピンチするようなことはせず、枯れ枝を切り取る程度とします。

バラを守るマルチング

■鉢植えの置き場

梅雨明け後、鉢内の温度上昇をやわらげるために、鉢の表面をピートモスでマルチングし、鉢の南側に板などで直射日光をさえぎるとバラが元気な状態を保ちます。

■水やり

- ・鉢植え…雨の降らない日は、毎日夕方に1回水を与えます。
- ・庭植え…梅雨時は不用ですが、梅雨前後は月2回ほど、たっぷり与えます。夏は、夕涼みがてら葉の裏から水をかけてみて下さい。葉ダニの防除を兼ね、地温を下げることもでき、一石二鳥です。

■庭植えのマルチング

梅雨明け後、急に高温になると、バラの内部の養分が暑さのため消費してしまいます。ワラ等でマルチングして地温を下げてバラを守ってあげましょう。ミニバラのように背の低い植物は、水やり時のド口はねによる病気の発生を防ぐ効果もあります。

Howto^{なび}

動画でもっとわかりやすく!
暮らしに関するHowto情報を動画で配信中。



How To 情報

コメリドットコム「HowTo情報」には、DIY情報、住まいや暮らしに役立つノウハウが満載です。

